

学 会 記 事

§ 平成 24 年第 3 回日本核医学会理事会 議事録

日 時：平成 24 年 7 月 31 日（火）
12 時 00 分～16 時 30 分

場 所：日本アイソトープ協会 第 3 会議室

出席者

理事長：井上登美夫

理 事：伊藤健吾，絹谷清剛，汲田伸一郎，
小泉 潔，佐賀恒夫，阪原晴海，
佐々木雅之，宍戸文男，千田道雄，
玉木長良，中川原讓二，畑澤 順，
細野 眞，松田博史，望月輝一，
渡邊 浩

監 事：小須田茂，桑原康雄

幹事長：立石宇貴秀

事務局：神田正子

欠席者

理 事：尾川浩一，藤林康久，山崎純一

議 題

I. 審議事項

1. 井上登美夫理事長より資料(1)に従い，第 55 回学術総会会長につき報告があり，小泉潔理事が第 55 回学術総会会長として承認された。
2. 玉木長良理事より資料(2)に従い，日本核医学会賞・研究奨励賞受賞者の報告があり，承認された。日本核医学会賞は，松尾信郎先生で承認された。研究奨励賞は，宿里充穂先生，南本亮吾先生，吉本光喜先生で承認された。
3. 佐賀恒夫理事，松田博史理事より，資料(3)に従い，平成 24 年度ワーキンググループの課題につき報告があり，継続 1 課題，新規 4 課題が承認された。
4. 小泉潔理事より資料(4)に従い，名誉会員，功労会員の推薦につき報告があった。名誉会員は該当者なしで承認された。功労会員は 70 歳以上の 10 名が承認された。
5. 定款細則の変更
小泉潔理事より資料(5)に従い，定款および定款細則の改訂が報告され，文面は承認された。基礎医学系の削除，理事候補者会による指名理事の選出に関し承認された。いずれかの分野に該当者が存在しない場合は選出しなくても容認されるのかと質問があり，評議員から指名理事として推薦していただくことになった。1 名のみ得票数の候補者を選定する場合など実際の選定に関しては選挙管理委員会で選挙管理規定，選考基準を新たに作成しこれに従って行う。細則 25-5 の「照会」を「審議」に変更する。
6. 細野眞理事より資料(6)に従い，FDG PET，PET/CT 診療ガイドライン 2012（案）の報告があり，厚労省医療課の指示による改訂後，メール理事会にて再審議の方針となった。
7. 細野眞理事より資料(7)に従い，ホームページの広告掲載の報告があり，承認された。井上理事長よりホームページ管理会社についてメンテナンス料やバナー広告費の安価な会社との契約について提案があり，承認された。
8. 小須田茂監事より資料(8)に従い，IAEA/RCA および国際会議について報告があり，2017 年に AOCNMB を日本に誘致することが承諾された。これを受けて同年に学術総会と AOCNMB を合同で井上登美夫理事長のもと開催することで承認された。2018 年オーストラリアで開催予定の世界核医学会を本会がサポートすることで承認された。2022 年開催予定の WFNMB を日本に誘致することについて議論

され、絹谷清剛理事が大会長をされることを視野に入れて、今後詳細調査後に検討することになった。

米国核医学会が SNMMI と名称変更になり、日本核医学会の名称変更の是非について議論されたが、現状のままで意見が一致した。

9. その他

- 9-1. 第 13 回春季大会につき、井上登美夫理事長より、学会サポート会社は 1 社と契約すること、学会からの要望を提示し公募により決定することが示され、承認された。
- 9-2. 井上登美夫理事長より資料 (27) に従い、重粒子線がん治療装置等共同利用運営委員会の委員に群馬大学樋口徹也准教授の推薦があり、了承された。
- 9-3. 小泉潔理事より資料 (16-1, 2) に従い甲府病院の RI 過剰投与問題につき報告があった。甲府病院から患者家族からの要望を受けて甲府病院外の医療安全管理体制（第三者調査委員会）を設置する意向が伝達された。第三者調査委員会に日本核医学会の委員が入ることはありえても、日本核医学会が自ら第三者調査委員会を組織することはありえないという方針で承認された。学会としては正式な依頼を待って内容を確認し前向きに対応する。
- 9-4. 千田道雄理事より資料 (17-1) に従い、分子イメージング臨床研究に用いる PET 薬剤についての基準（2011 年 11 月改訂）の追補 1, 2 について説明があり承認された。
- 9-5. 千田道雄理事より資料 (21-1) に従い、FDG-PET がん検診ガイドライン（2011 改訂）のマイナー修正について報告があり、承認された。
- 9-6. 渡邊浩理事より本学会が作成し会員専用サイトに掲載されている患者カードについて日本核医学技術学会の WEB 上に掲載できるようにするか、リンクすることの提案があり、承認された。
- 9-7. 井上登美夫理事長より、GE よりアミロイドイメージングの教育プログラムに関する打診があったことが報告され、PET 核医学委

員会にてご検討いただくこととなった。

- 9-8. 絹谷清剛理事より資料 (13-2) に従い、学会が受領している科研費に関する報告があり、次年度は国際情報発信強化 (A) に応募する方針が承認された。また、オープンアクセスの取り組みに関しても承認された。

II. 報告事項

1. 第 52 回学術総会準備状況報告
玉木長良理事より資料 (10) に従い、第 52 回学術総会準備状況について報告があった。
2. 第 53 回学術総会準備状況報告
桑原康雄理事より資料 (11) に従い、第 53 回学術総会準備状況について報告があった。
3. 第 54 回学術総会準備状況報告
畑澤順理事より第 54 回学術総会準備状況について報告があった。
4. 第 13 回春季大会状況報告
井上登美夫理事長より第 13 回春季大会の準備状況について報告があった。
5. 会計報告
阪原晴海理事より資料 (12) に従い、会計報告があった。次年度より日本医学会の分担金を新規に負担すること、外保連の分担金の増額があることが報告された。
6. 委員会報告
 - 1) 編集委員会
絹谷清剛理事より資料 (13-1) に従い、報告があった。
 - 2) 教育・専門医審査委員会
穴戸文男理事より資料 (14-1, 2) に従い、報告があった。
 - 3) PET 核医学委員会
細野真理事より資料 (10) を参照し、報告があった。
 - 4) 健保委員会
伊藤健吾理事より資料 (15) に従い、報告があった。現在、PET/MRI の保険収載について厚労省と協議を行い、当会も日本医学放射線学会、日本磁気共鳴医学会とともに協力し、

PET/MRI 診療ガイドラインの作成を実施している。井上登美夫理事長より PEM の薬事承認の条件について説明があり、PEM の場合は全身スキャンを施行後の追加撮影であることが条件になる方向で決定しているとのことであった。PEM の診療報酬については今後学会としても支援していくことを確認した。伊藤健吾理事より核医学で使用されている未承認の核医学検査について現状維持でよいか質問があり、引き続き健保委員会で検討していくことになった。小泉潔理事より、小児核医学ガイドラインにおいて、未承認の核医学検査も盛り込まれる予定であることが追加発言された。

5) 広報委員会

特記すべき事項なし。

6) リスクマネジメント委員会

中川原讓二理事より次回の理事会で報告されとのこと。

7) 放射線防護委員会

松田博史理事より資料(16-1)に従い、放射性医薬品を投与された患者さんにお渡しする説明書について、ホームページよりダウンロード可能であることが報告された。

① PET 用サイクロトロンに関するクリアランスおよび放射化物質の取り扱いに関する小委員会

千田道雄理事より、前回から進捗なしとの報告があった。原子力安全技術センターの調査委員会は開始されていないとのことであった。

8) 倫理検討委員会

特記すべき事項なし。

9) 学会賞選考委員会

10) 核医学認定薬剤師に関する検討委員会

小泉潔理事より代理報告があった。

11) 将来計画委員会

特記すべき事項なし。

12) 分子イメージング戦略会議

千田道雄理事より資料(17-2)に従い、報告があった。

13) 経営戦略委員会

汲田伸一郎理事より賛助会員の現況について報告があった。

14) 小児核医学検査適正施行検討委員会

小泉潔理事より小児適正投与量の決定について報告があった。

15) 内用療法戦略会議

絹谷清剛理事より資料(18)に従い、報告があった。

16) 早期探索 5 拠点 PET 連絡協議会

畑澤順理事より資料(19)に従い、報告があった。この協議会は分子イメージング戦略会議のもとに行われている。問題点は、① GMP 準拠した臨床試験を実施する場合の管理ソースを作成する必要がある。5人の委員が病院の外部委員として放射性薬剤安全委員会に相当するものを組織する。② 経費の負担の問題がある。③ バリデーションを実施する際に外部委託できるよう企業や会社に働きかける。

7. ワーキンググループ

8. 分科会活動

1) 腫瘍・免疫核医学研究会

佐賀恒夫理事に代わって絹谷清剛代表世話人より資料(20)に従い、報告があった。

2) 日本脳神経核医学研究会

中川原讓二理事より日本脳神経核医学研究会は第52回日本核医学会学術総会期間中に開催されると報告があった。

3) 日本心臓核医学会

玉木長良理事より平成24年6月22日、23日に日本心臓核医学会が開催されたことが報告された。

4) 呼吸器核医学研究会

小須田茂理事より第27回呼吸器核医学研究会は第52回日本核医学会学術総会期間中に開催されると報告があった。第28回呼吸器核医学研究会は第53回日本呼吸器学会のプログラムにも盛り込まれるとの報告があった。また、ホームページ上でもアナウンスをすることが承認された。

5) PET 核医学分科会

細野眞理事より資料(21)に従い、PET サマーセミナーに関して報告があった。

9. 国外学会等連携

1) 世界核医学会

2) 米国核医学会

玉木長良理事より米国核医学会と日本核医学会との共同講演の報告、次年度も同様の内容で共同講演を開催する方向で検討していると報告があった。

3) アジアオセアニア核医学会

(ARCCNM 兼務)

玉木長良理事より資料(22)に従い、報告があった。

4) 日韓中核医学会

玉木長良理事より資料(22)に従い、報告があった。

10. 理事長活動報告

資料(23)を参照のこと。

11. その他

1) 第49回アイソトープ・放射線研究発表会

佐々木雅之理事より資料(24)に従い、報告があった。

Ⅲ. 確認事項

1. 前回議事録

資料(25)を参照のこと。

2. 理事会日程

第4回 10月10日(水) 14:00~18:00

ロイトン札幌20階 第52回学術総会会場

§ 第4回一般社団法人日本核医学会
社員総会 議事録

平成24年10月11日(木) 16:30~17:30

さっぽろ芸術文化の館 ニトリ文化ホール

(第1会場)

井上登美夫理事長より資料に基づき物故会員の報告があり、全員で黙祷を捧げた。

議 題

1. 第52回日本核医学会学術総会報告

玉木長良会長より今回の学術総会についての報告があった。

2. 第53回日本核医学会学術総会準備状況報告

桑原康雄次期会長より第53回日本核医学会学術総会が平成25年11月8日~9日に福岡市福岡国際会議場で開催されることが報告された。

井上登美夫理事長より社員総会が成立したことが報告された後、井上登美夫理事長が、議長として議事に入った。

評議員定員181名(成立出席者数91名、定款の変更の承認に必要な有効票数は、120票以上、定款を除く議事承認に必要な有効票数は91名以上)

当日出席者71名、委任状85名、総計出席総数156名

3. 日本核医学会定款の変更

(定款細則変更の報告)

資料に基づき小泉潔理事から、日本核医学会定款の変更点の説明と定款細則変更の報告があった。

・定款細則第11章指名理事を設けることになった背景は何かとの質問があった。

学会を発展させるための戦略として、その時学会運営に必要とされる方を理事としてむかえたいとの説明がなされた。

- ・定款細則第 11 章第 35 条に理事長候補者、理事候補者と記載している理由はなにかとの質問があった。

定款第 18 条役員の選任に、「理事、指名理事、理事長である理事は、社員総会において選任する」との記載がある。指名理事の推薦のために開催する理事会は、総会開催前に開催するため理事候補者、理事長候補者、理事候補者会との記載になったとの説明がなされた。

- ・指名理事は、一般社団法人法で認められているのかとの質問があった。

顧問弁護士に相談したところ、公益社団法人法では認められないが、一般社団法人法では認められているとの回答があったとの説明がなされた。

さらなる質問がないことを確認し、定款変更について承認された。

4. 平成 23 年度事業報告および収支決算報告 (資料)

資料に基づき小泉潔理事から事業報告があり、承認された。

資料に基づき阪原晴海理事から収支決算報告、桑原康雄監事から会計監査報告があり、収支決算が承認された。

5. 平成 24 年度事業計画および収支予算案 (資料)

資料に基づき、小泉潔理事より事業計画につき提案され、承認された。絹谷清剛編集委員長より、平成 25 年度科学研究費補助金は、新規応募区分「国際情報発信強化」に申請し、編集委員会が ANM のオンラインジャーナル化に向けて検討することが報告されて、承認された。

資料に基づき阪原晴海理事より予算案につき提案があり承認された。

6. 名誉会員・功労会員承認 (資料)

小泉潔理事より資料に基づき、名誉会員は該当者がいないこと、功労会員 10 名の推薦があり承認された。

7. 平成 24 年度役員承認 (資料)

中村佳代子先生が、原子力規制委員の任に就くにあたり、平成 24 年 9 月 18 日をもって日本核医学会評議員を辞任されたことの説明があり、平成 24 年度日本核医学会役員が承認された。

中村佳代子先生より、辞任の挨拶があった。

8. その他

- ・2017 年に井上登美夫先生主催で、アジアオセアニア核医学会 (AOFNM&B) を開催する予定であることが報告された。

- ・小泉潔理事から任意団体日本核医学会は平成 23 年度について特に活動がなかったことが報告された。

9. 井上登美夫議長より、閉会宣言がなされた。